

塩竈市まち・ひと・しごと創生総合戦略(最終原案)に関するパブリックコメント実施結果

1. 意見募集期間 平成28年2月25日(木)～3月15日(火)
2. 意見提出者 1人(電子メール)
3. 意見総数 3件
4. 提出された意見の内容とそれに対する市の考え方

No.	項目またはページ番号	意見の内容(原文)	市の考え方
1	20ページ 人口の将来展望	人口の将来展望のところ、長期総合計画に掲げる目標人口で平成32年に55,000人を目指すとされているが、グラフの人口将来展望では52,415人となっている。どうして違うのか。	人口将来展望の数値は、国立社会保障・人口問題研究所(社人研)の推計を基に平成27年10月に行なわれた国勢調査の速報値を踏まえたものとなります。 「塩竈市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、本市の市政運営において最も基本となる「長期総合計画」を基にしている計画でありますことから、長期総合計画の期間である平成32年までは55,000人を目標とし、様々な施策を行うことで人口減少の割合を留めたいと考えております。
2	28～36ページ 基本目標全般	各基本目標において具体的な事業内容が書かれていないので、現在市が行なっている事業や進めていく事業が書かれていれば、よりわかりやすいと思われる。	国が平成28年度に示している地方創生関連の交付金(地方創生推進交付金)を申請するにあたり、総合戦略に事業内容を位置付けることに加えて、地域再生計画を作成し、内閣総理大臣の認定が必要となっております。 そのため、総合戦略では今後策定していく地域再生計画の中で幅広く事業をカバーできるように、具体的な事業は掲載せずに、施策の方向性の中で事業内容が分かるような形としております。
3	32～33ページ 基本目標3 (2)施策の方向性	施策の方向性のところに書かれている内容について、若い人にとっては全て行うことが望ましいと思われるが、もう少し絞って行った方が良いと思われる。	施策の方向性に掲載されている内容については、ほとんどが現在行なっている事業ですので、滞りなく取り組んでまいりたいと考えております。 また、地域再生計画を策定する際に、定住促進や子育てに関する事業をピックアップした上で事業を連携させ、より効果の高い事業を行なっていく考えであります。